



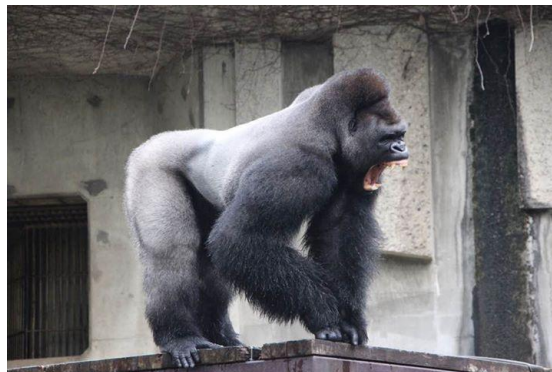
今回は 探究活動を生かした進路実現 その8 の報告です。

◇ 片岡幸大さん（名古屋大学理学部）の体験記！

おもな活動記録

- ・2017・18年度 日本動物学会中部大会 参加
- ・2018年度 アントロポスSEKIシンポジウム 企画・運営・発表
- ・2018・19年度 日本霊長類学会大会 参加

僕はこの度名古屋大学理学部にセンター利用推薦入試で合格しました。推薦入試にあたっては、3年間の自然科学部霊長類研究班の活動を中心にすえて書類を作成しました。研究のテーマは、「東山動物園における5頭のゴリラの群れの個体間関係の推移、および子どものゴリラの成長」です。研究成果は、日本霊長類学会や日本動物学会で発表し、霊長類学や動物学の専門家から、様々なご指導をいただきました。中には厳しいご意見やご助言もありましたが、その後の研究の展開に役立ちましたし、推薦入試の書類作成やそのあとの面接対策にも大いに生かすことができ、このことが合格につながったのだと思います。



今回は自分自身が受験した推薦入試の経験を踏まえて、メリット・デメリットについて書きたいと思います。

まずはメリットについて。1つ目は時間的に余裕があるという点です。面接や小論文の対策は、共通テストや二次試験の対策と比較すると短時間でできます。実際、僕は志望理由書を書いて、面接の少し前に毎日20分程度の面接練習を1週間行っただけでした。僕は国公立の推薦でしたのでセンターや二次の勉強も並行して行いましたが、「勉強時間が足りない！！」といったことにはなりませんでした。

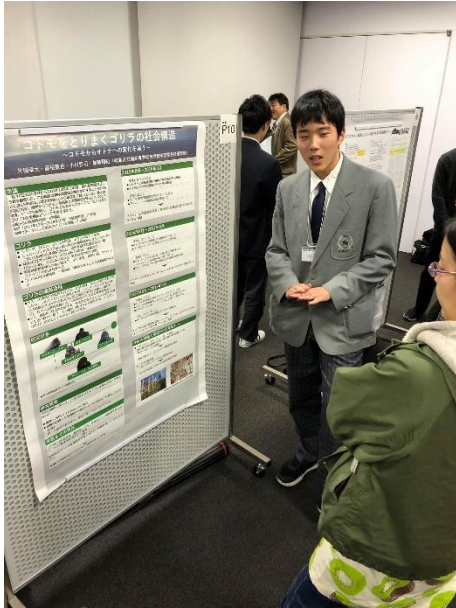
ただしそれには明確な理由があって、僕は入学時から3年7月までの間、ずっとゴリラの行動観察を続けていたので、書類作成の際にも書き込むべきことがたくさんあったし、いざ面接練習をはじめても、自分が話したいことがたくさんあったのでまったく困ることがなかったのです。推薦入試を受験するためには、その大学に入学したい理由や入学後の目標、将来の夢、そして高校における自分自身のしっかりとした履歴が必要です。特に理学部の場合は、きちんとした研究履歴や専門分野に関する具体的な興味関心、基礎知識などが問われます。もし、みなさんの中で、推薦入試を安易に考えている人がいるのならば、もう一度しっかりと考え直した方がよいのではないかと思います。

ただ、推薦入試で合格できた場合、他の人よりも早く受験勉強を終えることができるので、大学生活の準備を余裕をもって行うことができ、とても良い大学生活のスタートを切ることができます。

2つ目は自分が今までやってきたことを活かすことができるという点です。一般入試では合否はその時の得点数で決まってしまう。しかし、推薦入試では自分が今まで行ってきたことや自分が将来したいことなどを踏まえて評価してもらえます。ですから、正直点数があまりとれない人でもうまくいけば志望校に合格することができます。僕は模試やセンター点数では名大は厳しかったですが、合格することができました。

次にデメリットについて。1つ目は個人差はあると思いますが、精神的に辛い点です。僕は面接

がすごく苦手で、頑張って練習したのですが、それでも不安で、面接の数日前から合格発表まではとても精神的に辛かったです。推薦入試の対策には共通テストや二次試験の対策とはまた違った苦しさが伴います。推薦入試の受験を考えている人はそれなりの覚悟をしておいたほうがいいでしょう。



2つ目は日頃からきちんとした生活をしなければならない点です。推薦入試では評定がとても大切です。ですから、定期テストで常に高得点を取ることや、ちゃんと課題を提出することが重要になってきます。また、自己アピールのために部活やSGHの活動の実績や英検などの資格を取っておいたほうがいいと思います。先にも言いましたが、簡単そうに見えて結構大変なので推薦入試の受験を検討している人は頑張ってください。

最後にみなさんにひとつだけアドバイスがあります。それは最後まであきらめないでほしいということです。A判定だからといって100%合格するわけではありませんし、E判定だからといって100%落ちるわけではありません。大事なのは努力すること、そして努力した自分を信じることです。受験勉強は想像以上に辛いと思いますが頑張ってください。